

こしば新聞

令和4年3月28日(月)45号



【お問い合わせ先】

自由民主党
東京都品川区第三十四支部
〒140-0014

品川区大井 5-6-2-101

☎ 090-6106-2272

Fax 03-6303-7037

※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。



ご相談や区政へ
のご意見をお聞
かせ下さい。
☎ ゼビラインも

予算特別委員会

令和4年度の予算特別委員会(予特)が3月2日から22日まで行われました。それぞれの項目ごとにほぼ全ての議員が質疑に立ちました。22日には会派ごとの総括質疑と意見表明が行われ予算案は賛成多数で可決成立しました。前回に続きまして、今回は総務費と民生費について質疑した内容を扱います。

総務費

こしば

昨年の決算特別委員会では町会自治会の会館へのインターネット環境の整備に向けた提案を行った。今回の予算案には新しく、町会・自治会ICT活用促進補助が計上され

た。これまで、町会・自治会の会館に例えばWiFiを整備するとすると回線工事費や端末など初期費用に町会・自治会会館の整備補助を充当してきたと思うが、整備補助の交付要綱によると、過去3年以内に申請をしていないことが条件となるため、なかなか町会役員の間では実現まで至らなかったことが多かった。しかしネット環境の整備に特化した今回の事業により申請しやすくなったものと考えられる。ただし今回の予算では500万円が計上。補助金の上限が100万円なので、上限まで使うと50町会となる。(品川区で201町会自治会)この予算規模にした理由を教えてください。

品川区

令和2年度に新設した新型コロナウイルス感染症対策物品補助金の実績が52件であったことから、これを参考にして50町会分の予算にした。

こしば

声を上げる町会・自治会は比較的ICT促進に向けたブランドデザインが描かれていると思う。今回の申請を通じて地域のICT化の促進が早まれば、例えばこれまで延期していた総会や役員会なども町会会館に集まる役員とそれ以外の会員でハイブリッド会議を行うことが可能となる。一方で目まぐるしく進んでいるICT化の速さに追いつくことが難しい町会・自治会があるのも事実。そこでICTに長けた職員による相談対応を行うて頂きたいと考えるが、

いかがか。また民間コンサルタントを活用した場合も、この補助費に当てはまるが、その紹介も含めて品川区からアプローチしてもらいたいと考え

品川区

各町会や自治会の会長に配布している防災タブレットについては地域センターの職員が講師になってタブレット教室を行っているので、今回の場合も地域センターで対応していくと思う。また講習会の開催経費についても補助対象としていく。

こしば

児童参加地域事業補助について。今回の予算でバージョンアップされた町会・自治会児童参加補助を通じて、各々の町会や自治会が行事を運営し

やすくなり、未来の地域を担う子どもたちに少しでも地域行事に触れてもらうことで地域の経系(タテイト)のつながりを掘り起こしていくという意味では、大変意義のある補助制度であると思う。今回の事業の拡充は、これまで地域活動の自粛を余儀なくされてきた町会・自治会の今後の活性化に寄与する取組みと認識している。そのあたりの区の考えは?

品川区

町会役員の方も同じ感想を述べられる方が多い。子どもが参加するイベントをうまく打てるようになれば親御さんも一緒に来ていただけるというところで一緒に活動していくきっかけになることが多いと聞いている。

民生費

こしば
コロナ禍であっても密になら
ないように工夫して知恵を出
し合っただけでも楽しめる行
事を展開している町会もある。

最近では、町会の掲示板にク
イズが書かれた紙を予め貼っ
ておいて参加者がそれぞれの
掲示板に貼ってあるクイズに
答えていき、その答えを会館
にもっていけば景品をもらえ
るといった、密にならない取組
みを行った町会もあった。

しかしやはり町会役員の高齡
化で従来型の行事を踏襲し
たままではなかなか人が集ま
らなくなるようなケースも出
ている。先ほど例示した町会
の取組み事例などを区からも
各町会に提示してもらおうこ
とでより一層、町会自治会の活
性化に繋がると考えるがい
かがか？

品川区
町会の先進事例については、3
月中旬に町会・自治会活動の事
例集を発行していく予定。工
夫して行ったイベントについて
も令和4年度に事例集のよう
なものを発行していきたいと
考えている。

こしば

保育所等の特別支援巡回相
談について。待機児童解消の
ため2017年当時93園あ
った保育園は今和3年では、
141園に増えた。4年で15
0%も増えた一方で、保育士
不足が起きていることも事実。
懸念していることは保育士の
質。ほとんどの保育士は懸命
に保育に従事されている方ば
かりであるが、保育士の質に
よって我が子の転園を余儀な
くされるケースもある。私も
昨年、行政指導に関わる相談
を通じて、我が事と思い、担当
課と話し合いを続けてきた。
そこでまずこの特別支援巡回
相談が拡充された経緯を教
えてもらいたい。

品川区
これまで臨床心理士の巡回
相談事業は認可保育所のみ
を対象に実施してきたが、昨
今、小規模等の地域型や認証
保育所の利用が増えたことか
らこのたび拡充した。
こしば
保育所に通う幼児は母親よ

りも保育士のほうが接する
時間が長くなることもある。
場合によっては、母親がこども
の特性に気づかないこともあ
るかもしれない。保育士がそ
の幼児の特性に気づくような
場合には、臨床心理士などと
どのように連携を取っていく
のか。入口のところを教えて
もらいたい。

品川区

保育の現場では、ベテランの保
育士が多くない園では対応に
苦慮していることは聞いてい
る。園内におけるその子の行
動特性やその関わり方といっ
たところを臨床心理士が実
際に園に巡回したときに観察
し、こういう子にはこういった
声かけであるとか、あるいは
受け止め方ではないのではない
かと、保育士に対して助言、ア
ドバイスをしている。

保護者への対応についても、ど
ういう関わり方をしたらいい
のかを保育士に助言するよう
にしている。

こしば

安全対策強化事業助成につい
て。昨今、全国をみると登園
用のバスに取り残された園児

が誰にも気づかれずに熱中症
で死亡した事例があった。ま
た園内でブドウや節分の豆を
口にした児童が亡くなったケ
ースがあった。品川区では、幼
児のうつ伏せによる窒息事故
を防ぐため、午睡の幼児の動
きをセンサーが感知して音で
知らせるというシステムを導
入している。このシステム導入
によってどんな効果が生まれ
たのか、配備状況について教
えてもらいたい。

品川区
このセンサーは園児が眠るマ
ットの下にひいて、そこで動き
があったときにセンサーが感
知をして、モニター等で保育
士の方がその異常を確認でき
るということで、保育士の見
守りを補強するという位置づ
けにある。令和2年度末の状
況では、87園中28園で配
備されている。

こしば
巡回支援事業について。
この事業は重大事故や事件か
ら園児を守るための助言を
行うということであるが、事
故の防止は日々の積み重ねで
ある。これまでも当然に事故

の防止に取り組んでこられた
と思うが、この巡回支援事業
を行うことで得られる効果を
教えてもらいたい。

品川区

この巡回支援事業は、狙いと
して法に規定された指導検
査とは別に、巡回支援指導を
プラスして実施することで各
保育施設における重大事故
の防止や保育の質の確保・向
上を図るという狙いのもとに
行うものである。

予特あるある話②

時間との勝負。各自割
り当てられた時間内に
質疑と答弁が含まれま
す。ですので、残り時間
が少ないと答弁が尻切
れトンボであったりしま
す。これまでに、残り時
間3秒で答弁を求めら
れるような議員もいました。
時間は大切ですが、相手
がいての質問です。私は
今回の予特では残り0
秒で意見を言いきって終
わった回がありました。
額に汗かきました。